



2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月30日

上場会社名 太洋工業株式会社
 コード番号 6663 URL <https://www.taiyo-xelcom.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細江 美則
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 園部 直孝
 四半期報告書提出予定日 2021年8月2日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 073-431-6311

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2020年12月21日～2021年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	1,883	3.1	3		74		76	
2020年12月期第2四半期	1,825	5.8	73		63		399	

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 73百万円 (%) 2020年12月期第2四半期 416百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	12.90	
2020年12月期第2四半期	67.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	4,967	2,457	48.8
2020年12月期	4,428	2,401	53.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 2,425百万円 2020年12月期 2,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		3.00	3.00
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2020年12月21日～2021年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,326	36.2	59		71		53		8.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期2Q	5,910,100 株	2020年12月期	5,910,100 株
2021年12月期2Q	6,182 株	2020年12月期	1,782 株
2021年12月期2Q	5,906,045 株	2020年12月期2Q	5,886,041 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症による影響に伴い依然として厳しい状況にある中、感染拡大防止策及びワクチン接種の進展と経済政策の効果及び海外経済の改善が相まって、設備投資や生産活動において持ち直しの動きが続きました。

当社グループが属する電子基板業界は、パソコン・サーバー向けのCPUやAIチップ等が搭載される高性能パッケージ基板及び世界的な自動車生産の本格回復に伴い車載向けの大型パッケージ基板の需要が引き続き高水準を維持したことから、製造装置・材料メーカーを含めた製造各社では大型の設備投資計画が進められ、堅調に推移いたしました。

このような経済環境の下、鏡面研磨機事業において販売は減少したものの、電子基板事業、テストシステム事業及び産機システム事業において販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。

これらの結果、連結売上高は1,883百万円（前年同四半期比3.1%増）と、前年同四半期連結累計期間に比べ57百万円の増収となりました。

損益については、鏡面研磨機事業において売上高が減少したことに伴う影響はあったものの、電子基板事業及びテストシステム事業の売上総利益率が上昇したことや、人件費等の販売費及び一般管理費が減少したことに伴う影響により営業利益3百万円（前年同四半期は73百万円の営業損失）、雇用調整助成金等の助成金収入を営業外収益に計上したことにより経常利益74百万円（同63百万円の経常損失）、前年同四半期に計上した減損損失等がなくなったことから親会社株主に帰属する四半期純利益76百万円（同399百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子基板事業)

高難度製品の受注減により医療機器メーカー向けの販売は減少したものの、製品開発が復調したことに伴うFPC試作案件の受注獲得により、カメラメーカーをはじめとしたセットメーカー向けの販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、利益率の高い試作案件の受注増及び歩留まり改善をはじめとした生産効率の向上により、売上総利益率が上昇したことから増益となりました。

その結果、売上高1,175百万円（前年同四半期比2.7%増）、セグメント利益256百万円（同47.8%増）となりました。

(テストシステム事業)

外観検査機及び消耗品である検査治具の販売は減少したものの、中国市場を中心とした設備投資の需要回復に伴い、通電検査機及び既販売分の改造案件並びにメンテナンスの受注により販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加に伴う影響により損失が縮小いたしました。

その結果、売上高425百万円（前年同四半期比24.9%増）、セグメント損失0百万円（前年同四半期は56百万円のセグメント損失）となりました。

(鏡面研磨機事業)

研磨に使用する消耗品の販売は増加したものの、顧客の設備投資に対する慎重姿勢により研磨機の販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響により損失となりました。

その結果、売上高58百万円（前年同四半期比71.4%減）、セグメント損失21百万円（前年同四半期は12百万円のセグメント利益）となりました。

(産機システム事業)

産業用ロボット関連の販売は減少したものの、製造ラインにおける大型設備案件及びカバーガラス等の新規仕入商材案件の販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、前期からの産業用ロボット関連の不採算案件において追加原価等の想定外の事象が発生したこと及び仕入販売増による売上総利益率が低下したことから損失が拡大いたしました。

その結果、売上高223百万円（前年同四半期比65.0%増）、セグメント損失28百万円（前年同四半期は4百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ580百万円増加し、2,930百万円となりました。これは主として、たな卸資産が減少した一方、現金及び預金並びに売上債権が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ41百万円減少し、2,036百万円となりました。これは主として、有形固定資産が減価償却により減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ318百万円増加し、1,191百万円となりました。これは主として、仕入債務が減少した一方、短期借入金及び夏季の賞与を計上したことにより流動負債のその他に含まれる未払費用が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ165百万円増加し、1,318百万円となりました。これは主として、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ55百万円増加し、2,457百万円となりました。これは主として、利益剰余金が増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動により獲得した資金が57百万円、投資活動により獲得した資金が1百万円、財務活動により獲得した資金が460百万円となり、その結果、資金は前連結会計年度末に比べ523百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には992百万円（前年同四半期比9.3%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、57百万円（前年同四半期は18百万円の獲得）となりました。これは主として、売上債権の増加140百万円により資金が減少した一方、税金等調整前四半期純利益81百万円に加え、たな卸資産の減少68百万円及び減価償却費60百万円により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、1百万円（前年同四半期は13百万円の使用）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出6百万円により資金が減少した一方、投資有価証券の売却による収入15百万円により資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、460百万円（前年同四半期は555百万円の獲得）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出184百万円により資金が減少した一方、長期借入れによる収入450百万円及び短期借入金の純増加額238百万円により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期の連結業績予想については、足元の損益は当初予想を上回って推移しているものの、新型コロナウイルス感染症再拡大による影響が現時点では不透明な状況であり、当社グループを取り巻く市場環境への影響を合理的に算定することが困難であることから、2021年7月29日に公表した「営業外収益の計上及び2021年12月期 第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり当初予想を据え置くこととし、今後、重要な変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,288,749	1,812,425
受取手形及び売掛金	492,544	634,399
商品及び製品	135,899	127,944
仕掛品	299,274	241,400
原材料及び貯蔵品	80,068	81,685
その他	53,776	33,259
貸倒引当金	△284	△371
流動資産合計	2,350,028	2,930,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	340,511	328,230
機械装置及び運搬具(純額)	200,006	166,141
土地	893,133	893,133
その他(純額)	23,853	40,009
有形固定資産合計	1,457,505	1,427,514
無形固定資産		
その他	33,221	31,748
無形固定資産合計	33,221	31,748
投資その他の資産		
その他	593,726	582,963
貸倒引当金	△6,090	△5,408
投資その他の資産合計	587,636	577,555
固定資産合計	2,078,362	2,036,817
資産合計	4,428,391	4,967,562

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,401	124,625
短期借入金	401,257	695,820
未払法人税等	9,496	20,040
製品保証引当金	3,612	1,170
その他	299,559	349,841
流動負債合計	873,327	1,191,496
固定負債		
長期借入金	337,891	547,254
長期末払金	137,140	127,472
役員退職慰労引当金	181,045	164,370
退職給付に係る負債	490,027	472,073
資産除去債務	7,100	7,100
固定負債合計	1,153,204	1,318,270
負債合計	2,026,531	2,509,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	807,272	807,272
資本剰余金	930,572	930,572
利益剰余金	567,646	626,097
自己株式	△99	△99
株主資本合計	2,305,391	2,363,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,806	33,731
為替換算調整勘定	21,190	27,699
その他の包括利益累計額合計	61,996	61,430
非支配株主持分	34,472	32,521
純資産合計	2,401,860	2,457,794
負債純資産合計	4,428,391	4,967,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月21日 至 2020年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月21日 至 2021年6月20日)
売上高	1,825,990	1,883,358
売上原価	1,353,611	1,356,998
売上総利益	472,378	526,359
販売費及び一般管理費	546,041	523,086
営業利益又は営業損失(△)	△73,662	3,272
営業外収益		
受取利息	827	770
受取配当金	508	573
為替差益	—	6,849
助成金収入	6,614	66,611
作業くず売却益	6,528	761
その他	4,576	4,398
営業外収益合計	19,055	79,964
営業外費用		
支払利息	4,763	5,104
債権売却損	1,930	1,689
譲渡制限付株式報酬償却	—	1,504
為替差損	1,395	—
その他	733	396
営業外費用合計	8,823	8,694
経常利益又は経常損失(△)	△63,430	74,543
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,557
特別利益合計	—	6,557
特別損失		
固定資産除却損	18	0
減損損失	278,405	—
投資有価証券評価損	20,002	—
特別損失合計	298,426	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△361,857	81,101
法人税等	39,020	8,307
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△400,877	72,793
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,412	△3,382
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△399,465	76,176

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月21日 至 2020年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月21日 至 2021年6月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△400,877	72,793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,201	△7,074
為替換算調整勘定	△9,465	7,939
その他の包括利益合計	△15,667	865
四半期包括利益	△416,545	73,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△411,539	75,610
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,006	△1,951

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月21日 至 2020年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月21日 至 2021年6月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△361,857	81,101
減価償却費	49,785	60,915
減損損失	278,405	—
投資有価証券評価損益(△は益)	20,002	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△16,674
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△345	△2,442
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,070	△595
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	20,935	△17,953
受取利息及び受取配当金	△1,336	△1,343
支払利息	4,763	5,104
助成金収入	△6,614	△66,611
固定資産除却損	18	0
売上債権の増減額(△は増加)	27,412	△140,669
たな卸資産の増減額(△は増加)	93,635	68,826
仕入債務の増減額(△は減少)	△84,478	△38,246
その他	△41,132	59,859
小計	264	△8,729
利息及び配当金の受取額	1,336	1,343
利息の支払額	△5,195	△5,622
助成金の受取額	6,614	67,272
法人税等の支払額	△12,278	△4,641
法人税等の還付額	27,815	7,740
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,557	57,363
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	326	△9
有形固定資産の取得による支出	△9,111	△6,604
投資有価証券の取得による支出	△1,200	△1,200
投資有価証券の売却による収入	—	15,774
保険積立金の積立による支出	△1,676	△1,681
その他	△1,994	△5,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,656	1,080
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	350,000	238,000
長期借入れによる収入	430,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△175,260	△184,074
長期未払金の返済による支出	△31,582	△25,810
配当金の支払額	△17,610	△17,724
財務活動によるキャッシュ・フロー	555,547	460,390
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,581	4,831
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	552,866	523,666
現金及び現金同等物の期首残高	541,799	469,068
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,094,666	992,734

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年12月21日 至 2020年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,144,048	340,436	205,948	135,556	1,825,990	—	1,825,990
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,144,048	340,436	205,948	135,556	1,825,990	—	1,825,990
セグメント利益 又は損失(△)	173,598	△56,134	12,513	△4,606	125,371	△199,034	△73,662

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△199,034千円には、セグメント間取引消去等5,428千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△204,463千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

産機システム事業において、機械装置及び運搬具の減損損失3,585千円、各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産の土地の減損損失274,820千円を計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年12月21日 至 2021年6月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,175,501	425,339	58,800	223,717	1,883,358	—	1,883,358
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,175,501	425,339	58,800	223,717	1,883,358	—	1,883,358
セグメント利益 又は損失(△)	256,658	△948	△21,827	△28,939	204,943	△201,670	3,272

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△201,670千円には、セグメント間取引消去等6,924千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△208,595千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。